



街並みも春らしく

4月17日と18日に町内では春のクリーン作戦が行われ、早朝からゴミ袋と火バサミを手に道路わきや川べりのゴミを拾い集める姿があちこちで見られました。

また、4月19日には自衛隊早来分屯地曹友会のみなさんも清掃活動を行い、雪に埋もれていたゴミはあつという間に集められ、参加者によってきれいに清掃された川べりや道路わきはすっかり春の装いを見せていました。

もっと強くなりたい

4月18日恵庭市総合体育館で北海道空手道選手権大会が開催されました。

初めて開催された本大会には北海道各地から流派・会派の壁を超えた幼年から成人までの空手選手150名程が集まり日頃の練習の成果を競いあいました。

安平町から参加した木戸翔太君（早来大町・6歳）は将来の選手育成を目的に設けられた幼児新人戦で3位入賞と大健闘。

厚真町の空手道場に通い始めてまだ数か月であるものの「今度は大会で優勝したい」と元気に報告してくれました。



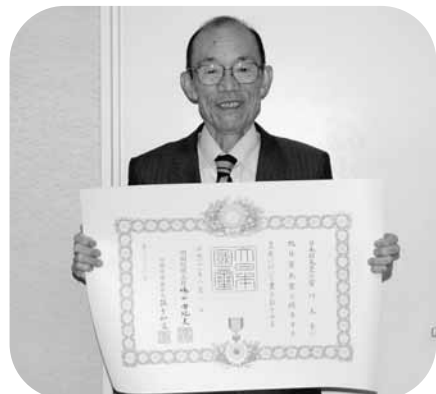
悲願の初優勝

4月25日第20回知事杯ベトナム大会(52チームが参加)が札幌市で開催され、安平町から参加した「チーム安平榎林」(榎林・楽間・舛田)が予選から攻める試合を実践し、決勝で対戦したチーム美幌を破り見事優勝を手にしました。安平町ベトナム協会員で編成したチームでの優勝は初めてで、最後まで見守ってくれた会員とともに優勝を分かち合いました。「勝負の決め手は攻め・フォロワー・集中力の3つ。集中力が継続したことで(試合の)流れを変える一投をうまく決めることができたのが勝因です」と楽間さんは笑顔で話してくれました。



旭日単光章を受賞

9期34年にわたり、胆振管内公平委員会委員に就任し、地方自治行政の振興と発展に貢献した功績をたたえられて、常川太吉さん(遠浅)が高齢者叙勲・旭日単光章を受賞しました。



4月21日胆振総合振興局吉村雄二地域政策部長が来庁し、勲記や勲章を伝達。瀧町長や胆振管内公平委員会事務局関係者が同席し、在任中の積極的な活動や苦労などをねぎらいました。常川さんは「2月に米寿を迎えましたが、おかげ様で長生きし、凶らずも光栄に浴することができました」と笑顔で話していました。

AEDを設置しました

日本赤十字社では、一般住民に対する自動体外式除細動器(AED)の使用方法を含む心肺蘇生法の普及のため、各種講習会を開催するなどAEDの設置を推進しています。

このような中、日赤安平町分區では、心肺蘇生法の一層の普及を図るとともに、これからの社会を担う大切な子ども達の生命を守るため、このたび「はやきた子ども園」へAEDを寄贈し、設置されました。

